

## 御挨拶

国際交流推進室ニュース第8号をお届けします。

2015年9月に信州大学から申請されていた博士課程教育リーディングプログラム(オンリーワン型)「ファイバールネッサンスを先導するグローバルリーダーの養成」が採択されました。優秀な学生を、俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くため、国内外の第一級の教員・学生を結集し、産・学・官の参画を得つつ、専門分野の枠を超えて博士課程前期・後期一貫した世界に通用する質の保証された学位プログラムを構築・展開する大学院教育推進のための拠点です。H25年度は全体で102件の申請がなされ、18件が採択されました。オンリーワン型に至っては43件の申請に対して4件の採択という極めて狭き門でした。今後、最高学府に相応しい大学院の形成を推進する事業として、世界に通用するグローバルリーダーの育成を修士、博士の一環で行って参ります。より一層の皆様方からのご支援・ご協力をお願い致します。

## 第2回海外留学説明会を開催

2013年11月、繊維学部国際交流推進室主催による留学説明会が行われ約30名が参加しました。下坂国際交流推進室長より正規留学、交換留学、語学研修などの様々な留学スタイル、フランス ENSAITとのダブルディグリープログラム、大学の留学関連プログラムやイベントの予定、就職活動との関連等の説明がありました。また、マレーシアのプトラ大学、イギリスのマンチェスター大学、フランス ENSISA に短期交換留学およびアメリカのカリフォルニア州立大学チコ校、カナダのバンクーバー・アイランド大学に語学研修した繊維学部生及び大学院生の体験談が披露されました。

## 留学生研修旅行の実施

2013年9月18日から19日の2日間に渡り留学生研修旅行を実施しました。今年度の研修旅行は、留学生21名、引率教職員3名が参加し、岐阜県方面に一泊二日で行われました。白川郷、妙立寺(通称忍者寺)、金箔工芸箔座本店、ひがし茶屋町を訪問いたしました。皆さんの普段の行いが良いのでしょう。台風が過ぎた後で、晴天に恵まれ、旅行日よりとなりました。留学生間の交流も深まり有意義な時間を過ごしました。



図 留学生研修旅行 千里浜にて

## 新しい交流協定の締結

2013年7月、米国のコーネル大学人類生態学部繊維科学・アパレルデザイン学科との間で学部間交流協定を締結いたしました。コーネル大学はニューヨーク州に本部を置く私立大学であり、1865年に設立されました。アイビー・リーグの一角であり、全米屈指の名門大学です。

## 日中韓大学院生 シンポジウムを開催

2013年9月、日中韓大学院生シンポジウムを開催しました。本シンポジウムは2013年8月20日から23日まで韓国の国立ソウル大学及び漢陽大学で開催し、繊維学部からは12名(修士課程8名、博士課程4名)の大学院生が参加しました。参加学生は繊維関連分野の講義および研究課題の発表と討論を通じて3カ国間の学生同士の交流を活発に行いました。また、講演プログラムの終了後には、史跡、文化施設の見学を行い、韓国文化への理解を深めました。

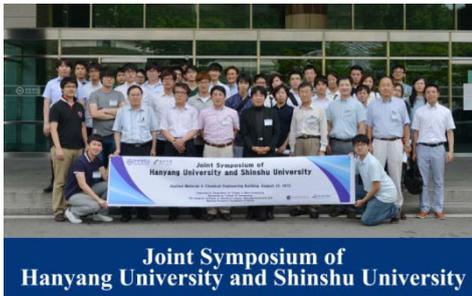


図 日中韓大学院生シンポジウム  
集合写真漢陽大学にて

## Pampanga Agricultural College の学長一行が繊維学部を訪問

2013年9月24日に、フィリピン Pampanga Agricultural College の Dr. Honorio M. Soriano Jr. 学長一行の訪問を受けました。学部執行部との懇談を通じて、今後のフィリピン Pampanga Agricultural College との学術交流について意見交換しました。

## チェコ共和国大使館一行が 繊維学部を訪問

2013年11月6日に、チェコ共和国大使館から駐日特命全権大使 Ms. Kateřina Fialková、経済・商務部主管 Mr. Marcel Sauer 及び通訳村上ケンタ氏、そして在日チェコ商工会議所から渡辺ロマン会頭及び野本一夫副会頭の訪問を受けました。学部間交流協定校であるリベレツ工科大学繊維学部との今後の交流計画などについて意見交換を行いました。

## 国際交流推進室 室員紹介

下坂 誠(室長、生物機能科学課程)  
平林公男(副室長、生物資源・環境科学課程)  
金 翼水(副室長、機能機械学課程)  
鮑 力民(機能機械学課程)  
ハニウッド マイケル(感性工学課程)  
平田雄一(応用化学課程)  
金井博幸(先進繊維工学課程)  
福長 博(材料化学工学課程)

### 編集後記

繊維学部キャンパスで、これまでに学生あるいは研究生として研究や勉学に打ち込んだ留学生は多数にのぼります。しかし、残念ながらほとんどの方々の現況がわからない状況です。国際交流推進室では、国内外で活躍する留学生同窓生とのパイプを作ることを目的に、繊維学部の現況を知らせる留学生同窓生向けニュースを定期的に発行することにいたしました。当面は中国の留学生同窓生を対象として始めますが、将来は他の国にも拡大する計画です。

(2013年師走)

本ニュースへの意見、要望などありましたら、  
国際交流推進室メールアドレス(fkokusai@shinshu-u.ac.jp)へお寄せください。

### ◆ 国際交流推進室ホームページ ◆

<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/exchange/>